
CyberRad対応委員会報告

- CyberRadについて
- JRC2006報告
- その他の広報活動
- 2006年度計画

CyberRadについて

- 日本ラジオロジー協会 (JRC) は、日本放射線学会 (JRS)・日本放射線技術学会 (JSRT)・日本画像医療システム工業会 (JIRA)と連携して 毎年学会や機器展示を実施してきた。
- 1999年より、3者合同の学術展示を行っている⇒ CyberRad
- JRCとして行う継続的な学術展示であり、両学会の学術大会、及び機器展示と同格
- CyberRad委員会 (JIRAシステム部会の広報担当として参画) が運営

JIRAシステム部会の広報担当として参画



JRC CyberRad2006

- CyberRad委員会の決定によりIHE-JのシナリオデモをCyberRadのテーマ展示として行った。(例年どおり)
- デモ内容はIHE-Jコネクタソンの結果発表の場として定着。
- IHE-Jデモと平行して講演形式のチュートリアルを実施。

CyberRadデモ実施の概要

- IHE入門 (講演) とリンクしたガイド付きツアー
- 配布物
 - ーIHE理念解説 (4ページ)
 - ーIHE入門 (講演パワーポイント資料)
 - ーCyberRadのアンケート⇒回答者へのグッズは無し
 - ーIHE-Jコネクタソン評価結果
 - ーIHE紹介DVD
 - ーIHE-J循環器活動紹介資料

マルチベンダによるデモ

- コネクタソン結果公表の場
- 4つの基本シナリオによる実演デモ
- 25社参加 (年々増加している)
- SWF, PIR, CPI, SINR, PDIを実現
- 広報ビデオ撮影は見送り。

デモンストレーション

- ・デモンストレーションベンダー25社。
- ・参加者 約500人



デモツアー参加者数集計2006

	延べ参加人数
4月7日 (金)	200
4月8日 (土)	185
4月9日 (日)	90
合計	475

その他の活動

- 日本医療情報学会春季学術大会2005
- 国際モダンホスピタルショウ2005
- RSNA2005 (Meeting) ⇒JIRA会報に報告掲載
- IHE-Jとの連携： ワークショップの実施に常に参画
- 広報活動
主として厚生労働省、経済産業省の関連部局と
- HOSPEX (医療・福祉施設のための設備・機器総合展) 2005：
マルチベンダデモの企画とサポート
- 「画像診断機器関連産業2006」作成編集作業に参画
システム部会の関係団体図まとめなど

国際モダンホスピタルショー2005

- **会場：** 東京ビッグサイト[国際展示場] 西3・4ホール
- **会期：** 2005. 7.14 (水) -7.16 (金)
- **企画展示：**「画像・情報ネットワークによる医療支援」
- **JAHISブースにてIHE-J活動紹介**
 - ーIHE-J紹介パネル展示
 - ービデオのエンドレス放映 (2005年版DVDをJAHIS活動紹介と交互に)
 - ー紹介資料とDVD配布
- **マルチベンダデモは、医療情報学会会場で実施**



医療情報学会春季学術大会2005

- 2005.7.13 (水) -14 (木) 東京国際交流館
- IHE-J 세미나・マルチベンダデモを実施
- デモは基本2シナリオ採用

医療情報学会春季学術大会2005

第9回日本医療情報学会



春季学術大会 (シンポジウム2005)

「病院情報システムと部門システムの連携はどこまで容易になったか」

病院情報システムは、医療や研究・教育の分野でなくてはならないシステムとなりつつあります。部門システム(放射線情報システムやPACSなど)との情報連携が今後の普及の鍵となりつつあります。

今学術大会では、この部門間の情報連携のプロジェクトである、IHEにスポットを当てました。

新しい試みとして、大会の日程と会場をモダンホスピタルショウと連携可能にしました。会期は、7月13、14日の2日間、会場は、東京国際交流館(ここビッグサイトから直線距離で約2km)です。

- 学術展示: 7月13日 10:30-17:30 14日 9:00-16:00 多目的ホール
「医療連携のための情報統合化プロジェクト-IHE-」のデモ(※参加無料)
30分のガイド付きのプレゼンテーションを10回予定しています。

13日	14日
10:30 プロファイル (PDI)	10:30 プロファイル (PDI)
11:00 プロファイル (SWF,PIR)	11:00 プロファイル (SWF,PIR)
13:00 プロファイル (PDI)	13:00 プロファイル (PDI)
13:30 プロファイル (SWF,PIR)	13:30 プロファイル (SWF,PIR)
16:00 プロファイル (PDI)	
16:30 プロファイル (SWF,PIR)	

- 特別企画: 7月14日(木) 9:00-12:00 第1会場
「医療連携のための情報統合化プロジェクト」(※参加無料)
—IHEの現状と病院情報システムにおける期待される役割—
※:学術展示、特別企画に参加される人は、このビラを提示下さい。
- シンポジウム: 7月13日(水) 10:00-12:00 第1会場
「IHEを利用した業務フロー分析は可能か」
- チュートリアル、ワークショップ、学術発表、ポスター展示など
詳細スケジュールと開催場所については別途資料を参照ください

会場案内

大会会場である東京国際交流館へのアクセス・シャトルバスなどについては、裏面の案内をご参照ください。皆様の学術大会へのご参加をよりしくお願いします。

無料シャトルバス



(東京国際交流館⇄東京ビッグサイト) 時刻表

シンポジウム2005会場と国際モダンホスピタルショウ会場を約15分で結びます。

交通事情のため、運行時刻を変更する場合がありますので予めご了承ください。

東京国際交流館発 (シンポジウム2005会場)			東京ビッグサイト発 (国際モダンホスピタルショウ会場)		
時	13日(水)	14日(木)	時	13日(水)	14日(木)
10	00,30	00,30	10	15,45	15,45
11	00,30	00,30	11	15,45	15,45
12	00,30	00,30	12	15,45	15,45
13	00	00	13	—	—
14	15,45	30	14	30	15,45
15	15,45	00,30	15	00,30	15,45
16	15,45	00,30	16	00,30	15
17	15	—	17	00,30	—



新交通ゆりかもめ(新橋駅<->有明駅)
「船の科学館」東口より徒歩約3分
りんかい線(新木場駅<->大崎駅)
「東京テレポート駅」より徒歩15分



●シャトルバス乗り場
1F 中央ターミナル
(路線バス「東京ビッグサイト」
停留所付近)



モダンホスピタルショウ

東京国際交流館



IHEワークショップ in ○○

- IHE-J**渉外委員会**の活動をサポート
- **第1回** 2004.9.12(**日**) in **高知**
- **第2回** 2005.1.22(**土**) in **大阪**
- **第3回** 2005.2.26(**土**) in **札幌**
- **第4回** 2005.5.14(**土**) in **金沢**
- **第5回** 2005.9.3(**土**) in **名古屋**
- **第6回** 2006.1.28(**土**) in **小倉**
- **第7回** 2006.5.13(**土**) in **仙台**



IHE-J プロジェクト <http://www.jira-net.or.jp/ihe-j/> 2003 年 7 月

IHE の理念と活動

— 標準的电子カルテ実現の一翼を担って —

IHE-J の展示デモをご覧になられたでしょうか。その中で皆様はいろいろな感想をお持ちになったことと思います。IHE について興味を持たれた方も多くいらしたことでしょう。一方で、「これは自分の病院で使えそうだな」と感じられた方もいらしたことでしょう。

これから IHE をシステム化の選択肢の 1 つとしてお考えの医療関係者の方々や、IHE-J への参加をお考えのベンダの方々に、少しでも理念（考え方）をご理解いただけたら幸いです。考え、以下にその一端を紹介するしだいで。

1. IHE の理念

・標準化により医療生産性を向上

IHE の目的、すなわちその存在意義は何でしょうか。その使命は、「標準化により医療生産性を向上させること」にあります。投入される限られた資源を有効に生かして、目指すレベルの医療を実現することにあります。

・IT 化実現手段の共有

IHE は、「医療機関」と「ベンダ」が利用者であり、双方が IT 化についての考え方、実現手段を共有することが重要であると考えます。

IHE の目指す標準化の目的はシステムの画一化とは異なります。そこで定める標準は病院が目指す IT 化のベースラインに相当し、その範囲内の相互接続性は確保されます。ベースラインを崩さなければ、製品のカスタマイズを要求することも医療機関の自由です。

・国際的活動

IHE は米国で始まった国際的な活動です。各国固有の事情を尊重しながら、世界中で活用できる標準を目指し、活動範囲を拡大しています。

2. IHE 誕生の背景と発展

・規格からガイドラインへ（DICOM, HL7 などの標準規格適用の限界を踏まえて）

標準規格をマルチベンダシステム実装において効率的に利用するために、

すなわち適用シナリオを明確にし、規格の中のどの部分を利用するかを定義し、

インをつくるのが最短の道であることが明らかになり、

ガイドラインを作り、その評価結果により標準規格を適用する

要です。そのためには、多くの医療機関が参加し、

第8回 IHE ワークショップ in 東京

IHE-J 渉外委員会

共催：第8回医用画像認知研究会

第8回遠隔画像診断部会

第6回画像診断報告書研究会

第30回 JPACS 医用画像電子化研究会

会 期：2006 年 8 月 5 日(土) 午後 1 時～午後 5 時

場 所：慶應義塾大学医学部 東校会議室

(地図：<http://www.med.keio.ac.jp/access.html>)

〒160-8582 新宿区信濃町 3 5

資料代：3,000 円 (IHE の DVD を含む)、「IHE 入門」を購入の場合は 1,000 円割引

(敬称略)

13:00-13:10 開会の挨拶

IHE-J 委員長 石垣武男

13:10-14:10 「IHE 入門」

司会 埼玉医大総合医療センター 松田恵雄

1. IHE の普及活動と世界動向 (15 分)

埼玉医科大学 塚本信宏

2. IHE の利用方法 (初級編) (15 分)

豊橋病院 原瀬正敏

3. 放射線領域で使う IHE 統合プロフィール (30 分) 放射線医学総合研究所 安藤裕

14:10-15:40 「IHE 概要」

司会 豊橋病院 原瀬正敏

1. 米国版 Handbook による解説 (30 分)

藤田保健衛生大 江本豊

2. IHE 概要 What's new in IHE-J (30 分)

京都医療技術短大 細羽実

3. プロフィールを要求仕様書に利用する勘所 (30 分) 岡崎市民病院 奥田保男

15:40-16:00 休憩

16:00-17:40 「サクセスストーリー」と「行政からの IHE-J への期待」

司会 IHE-J 渉外委員山本裕長・青野一大

1. サクセスストーリー

(1) 埼玉医大での導入事例 (20 分)

埼玉医大 松田恵雄

(2) 放射線医学総合研究所での導入事例 (20 分) 放射線医学総合研究所 向井まさみ

2. 行政からの IHE-J への期待

(1) 厚生労働省の立場から 厚生労働省 医政局情報開発振興課 中安一幸(予定)

(2) 経済産業省の立場から 商務情報政策局 医療福祉機器産業室 堀越裕太郎(予定)

17:40-17:45 「閉会の挨拶」

IHE-J 渉外委員長 安藤裕

(いずれも仮題、予定演者)

<今後の開催予定>

第9回 IHE ワークショップ in 京都

官庁などへの原稿・講演依頼とそのまとめ



HOSPEx2005

—医療・福祉施設のための設備・機器総合展—

- 会場： 東京ビッグサイト[国際展示場]
- 会期： 2005. 11.9 (水) -11.13 (金)
- 特別企画2「変革する電子カルテ時代の病院設備」：
IHE-J活動紹介
 - IHE-J紹介パネル展示
 - 紹介資料とDVD配布
- マルチベンダデモは、基本1シナリオで実施



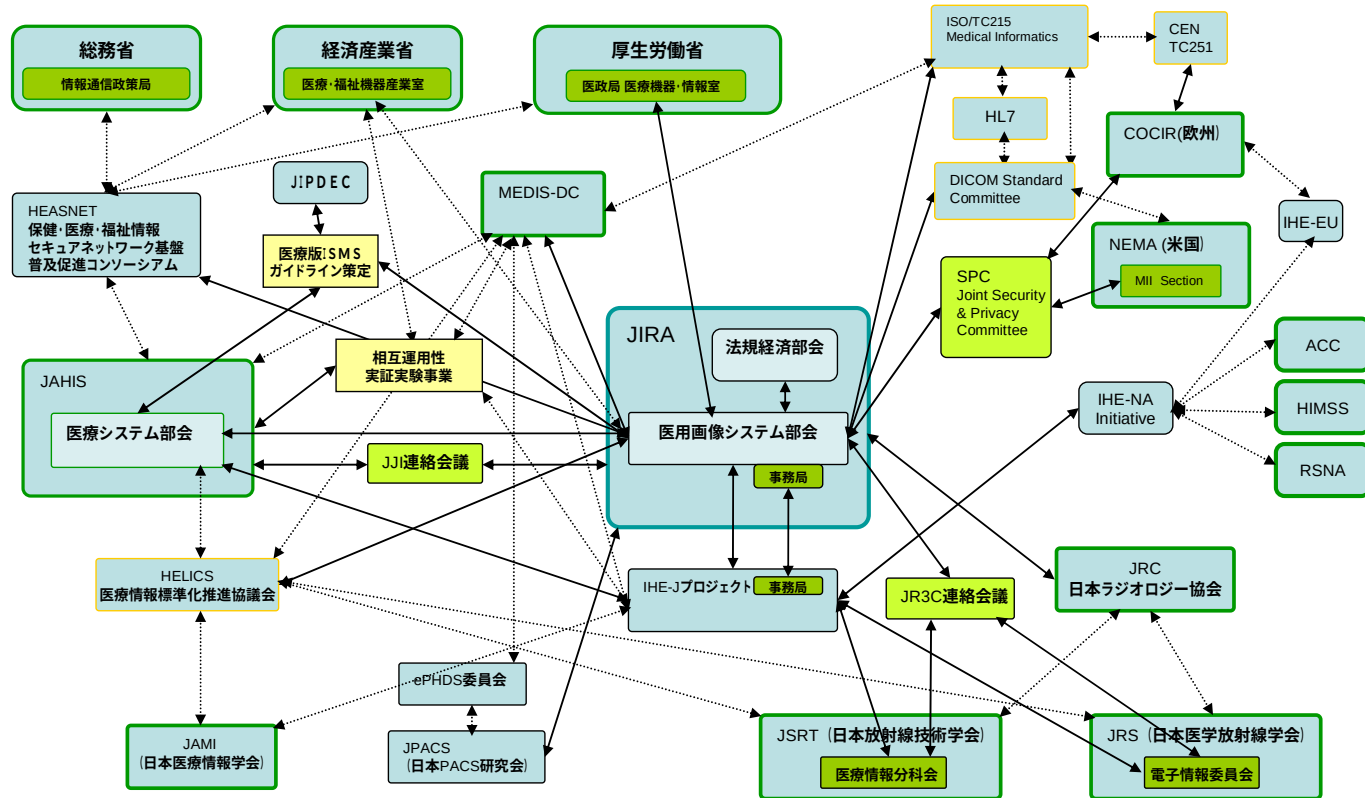
「画像診断機器関連産業2006」創刊^{1/2}

- JIRA広報委員会が担当
JIRA会報No.177に委員長記事あり
- 2005年末に、実質編集作業スタート
- システム部会の関係団体図が好評
他部会へも展開へ
- 「画像診断機器関連産業2007」・・・継続発刊決定
システム部会の担当テーマが中心となる予定

「画像診断機器関連産業2006」創刊2/2

JIRA 医用画像システム部会の活動関係諸団体

2006.2.8
JIRA



2006年度事業計画

- JRCのCyberRad委員会に対して：
学術展示としてのCyberRadのあり方について議論、提案を行う。
- 展示/カンファレンス支援：
JRC、モダンホスピタルショウ、医療情報連合大会など。
- IHE-Jとの連携： ワークショップの実施にも継続的参画
- 「画像診断機器関連産業2007」作成に中核的参画
- その他 システム部会のホームページ運用担当



国際モダンホスピタルショー2006

- 会場：東京ビッグサイト[国際展示場] 東4・5・6ホール
- 開催時期： 2006. 7.12 (水) -14 (金)
- 来場者数： 7万6千人を予想
- JAHISブースにてIHE-J活動紹介
 - ーIHE-J紹介パネル展示
 - ービデオのエンドレス放映
(2005年版DVDをJAHIS活動紹介と交互に)
 - ー紹介資料とDVD配布
- IHE-Jセミナー・マルチベンダデモは見送り
 - ーマルチベンダデモは、11月の医療情報学会連合大会に注力。
 - ー企画展示コーナーでIHE-J紹介ビデオを放映。
 - ーセミナーはJRS,JSRTで継続実施。紹介コーナーを設ける。



IHEワークショップ in 東京・・・

- IHE-J 渉外委員会活動のサポート継続
- 第8回 2006.8.5(土) in 東京

第8回医用画像認知研究会合同研究会併催
@慶應義塾大学医学部 東校舎講堂

- 第9回 2007.1.? in 京都
- 以後、in 沖縄など計画中

第8回 IHE ワークショップ in 東京

IHE-J 渉外委員会

共催：第8回医用画像認知研究会

第8回遠隔画像診断部会

第6回画像診断報告書研究会

第30回 JPACS 医用画像電子化研究会

会 期：2006年8月5日(土) 午後1時～午後5時

場 所：慶應義塾大学医学部 東校舎講堂

(地図：<http://www.med.keio.ac.jp/access.html>)

〒160-8582 新宿区信濃町35

資料代：3,000円 (IHE の DVD を含む)、「IHE 入門」を購入の場合は1,000円割引

(敬称略)

13:00-13:10 開会の挨拶

IHE-J 委員長 石垣武男

13:10-14:10 「IHE 入門」

司会 埼玉医大総合医療センター 松田恵雄

1. IHE の普及活動と世界動向 (15分)

埼玉医科大学 塚本信宏

2. IHE の利用方法 (初級編) (15分)

豊橋病院 原瀬正敏

3. 放射線領域で使う IHE 統合プロフィール (30分) 放射線医学総合研究所 安藤正敏

14:10-15:40 「IHE 概要」

司会 豊橋病院 原瀬正敏

1. 米国版 Handbook による解説 (30分)

藤田保健衛生大 江本豊

2. IHE 概要 What's new in IHE-J (30分)

京都医療技術短大 細羽実

3. プロファイルを要求仕様書に利用する勘所 (30分) 岡崎市民病院 奥田保男

15:40-16:00 休憩

16:00-17:40 「サクセスストーリー」と「行政からの IHE-J への期待」

司会 IHE-J 渉外委員 山本裕・青野一大

1. サクセスストーリー

(1) 埼玉医大での導入事例 (20分)

埼玉医大 松田恵雄

(2) 放射線医学総合研究所での導入事例 (20分) 放射線医学総合研究所 向井まさみ

2. 行政からの IHE-J への期待

(1) 厚生労働省の立場から 厚生労働省 医政局情報開発課 中安一幸(予定)

(2) 経済産業省の立場から 商務情報政策局 医療福祉機器産業室 堀越裕太郎(予定)

17:40-17:45 「閉会の挨拶」

IHE-J 渉外委員長 安藤裕

(いずれも仮題、予定演者)

<今後の開催予定>

第9回 IHE ワークショップ in 京都 会期：2007年1月(予定)



医療情報連合大会2006

- 2006.11.1 (水) -3 (金) 札幌コンベンションセンター
- ハイパーデモに演題登録・実施
- IHE-Jマルチベンダデモを実施予定
- 放射線部門から臨床検査へ拡大

チュートリアル「IHE-J入門」10月31日
シンポジウム「IHE-Jの最先端」
デモ：IHEによる部門間システムの相互運用性